



暑さに強い品種！寒さに強い品種！ スプレーギク2品種を開発！

－開花が遅れず安定出荷が可能－

開発の背景・ニーズ

近年、スプレーギク産地では夏の高温期や冬の低温期における生育・開花の遅れが問題となっており、厳しい暑さや寒さの中でも安定して生産できる新品种が求められています。そこで、高温、低温に強いスプレーギクの品種開発に取り組みました。

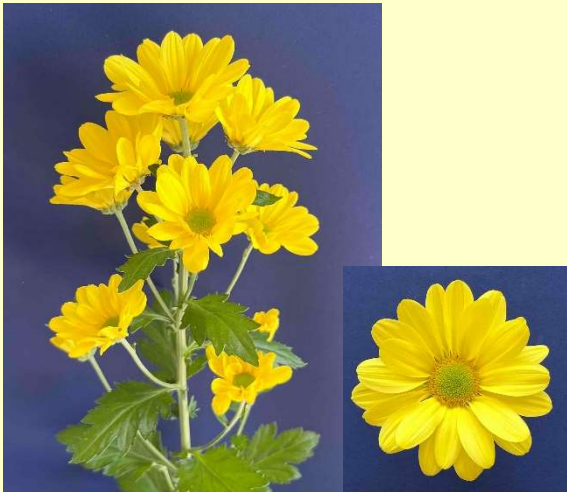
成果の内容

■「スプレー愛知夏4号」

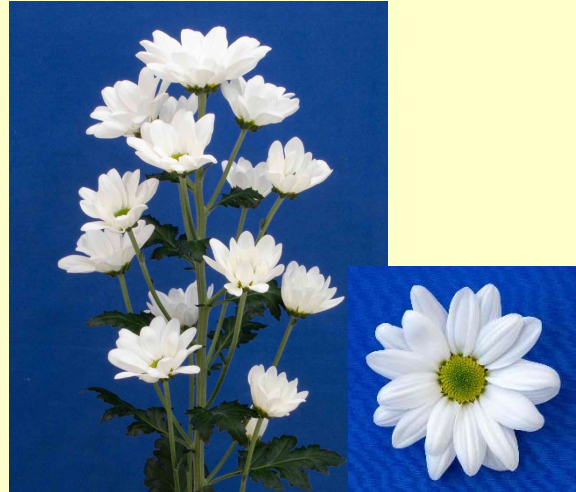
花卉の色が鮮やかな黄色で、茎が硬く、葉がしっかりとしています。夏の暑さによる開花の遅れや、葉の先端が黒く変色する「葉焼け」等の生理障害が少なく、高温期に安定して出荷できます。また、下部の側枝の発生が少なく、栽培管理や収穫がしやすい品種です。（2023年2月1日登録出願）

■「スプレー愛知秋2号」

花卉の色が純白で、葉色の濃緑とのコントラストが鮮やかな品種です。寒い時期でも茎の伸長性が優れるとともに、開花が早く、開花揃いも良いことから、計画的な生産・出荷ができます。（2023年6月8日登録出願）



スプレー愛知夏4号



スプレー愛知秋2号

愛知県農業への貢献

暑さに強い「スプレー愛知夏4号」と寒さに強い「スプレー愛知秋2号」を組み合わせることで安定した周年出荷が可能となります。

「スプレー愛知夏4号」は、2023年から生産を開始し、2027年に年間50万本、「スプレー愛知秋2号」は、2024年から生産を開始し、2027年に年間100万本の出荷を目標としています。